第４４回入間川地区ソフトボール大会競技規則

１　実行委員会で決定された事項については、チーム全員に連絡し徹底を図ること。

２　ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。

３　チームは、試合開始予定時刻の３０分前までに当該グランドに集合し、バックネット裏にいる実行委員に打順表を提出すること。

４　攻守の決定は、打順表提出時に行うとする。

５　フィールディングは、行わない。

６　用具

（１）スロート（のど）ガード付きマスク…捕手は男女を問わず着用のこと。
（２）プロテクター：捕手は男女を問わず着用を推奨する。
（３）ヘルメット：男女とも着用すること。（打者、走者、捕手）
　　※できれば両耳ガード、捕手は捕手用ヘルメットのものを次打者、コーチに付けること。
（４）膝当付レガース：捕手は男女を問わず着用を推奨する。
（５）靴：金属製スパイク・セラミック製スパイクは使用禁止とする。
（６）服装：競技のできる服装とする。
（７）帽子：帽子等の着用を推奨する。

７　競技者

（１）チーム構成
　　①監督１名
　　②出場選手の男女の構成比は問わない。

（２）監督
　　選手登録の上で選手として出場できる。

（３）再出場
　　原則として認めない。（リエントリーは認めない。）
　　ただし、主催者及び相手方チームの責任者が相当の理由ありと認めた場合は可とする。

（４）エキストラヒッター（ＥＨ）制は、採用しない。

（５）１０人目の野手は、フエア地域内ならばどこに位置してもかまわない。

（６）グラウンドの準備・片付け
　　①第１試合のグラウンド整備は、ライン引きも含め第１試合の両チームが行うこと。
　　②２試合目以降のグラウンド整備は、前試合の両チームが行うこと。ただし、連続してゲームがあり、移動が必要な場合は、負けチームのみで行う。
　　③各グラウンドの最終試合の両チームは、試合終了後グラウンド整備と後片付けを行うこと。

（７）塁審
　塁審の選出については次のとおりとする。該当チームは３人選出すること。

①第１試合の塁審
　第２試合の組み合わせ番号が若いチームまたは棄権したチームとする。
②第２試合以降の塁審
　前試合の負けチーム（棄権も含む）とする。
　※予定試合の両チームが棄権した場合は、組み合わせ番号の若いチームが塁審を行うこと。

８　棄権
次のとおり該当した場合は棄権とみなす。
（１）組み合わせ抽選後に出場を取り止めた場合
（２）当日、試合予定時刻になっても集合していない場合
　※棄権により試合が行われないときは、その後の試合予定時刻が繰り上がるので、各チームは注意すること。

９　申し合わせ事項
（１）大会開催要項及び上記以外の競技規則は、２０２４年オフィシャルソフトボールルールにより、審判長が決定する。
（２）審判の判定については素直に従うこと。
（３）試合終了後の抗議は一切認めない。抗議については監督とする。
（４）出場資格等の反則が発見された場合は、当該チームの体育主任及び主催者側が確認協議のうえ、処分を決定する。
（５）試合が連続するチームは、次の試合までの休憩は２０分を目安とする。ただし、双方のチームの承諾があれば予定時刻を早めて試合に臨むことができる。
（６）当日しようするオーダー表（打順表）は実行委員会で用意したものを使用する
　１試合で３枚（複写）使用する。（自分チーム用、相手チーム用、主審用）
（７）ファールボールは、そのボールに近い方のベンチ側が取りに行く。
（８）次打者サークルでの素振りは禁止する。
（９）応援席について、試合を行うチームがベンチとその隣り（テント１張分）を優先に配置することができる。（試合後は速やかに撤収し、次の試合の自治会に明け渡すこと）
　※待機中のテントは試合を行うグラウンド付近に設置すること。

10　その他
①準備運動等を十分に行うこと。
②選手は、腕時計、イアリングやネックレス等の装身具は着用しない。
③不快なヤジはお互いに慎むこと。

11　２０２４年オフィシャルソフトボールルール抜粋
（１）打撃
①　２ストライク後のファウルボールは、三振となり、アウトとなる。
②　バント及びチョップヒットを狙った場合、打者アウトとなる。
③　死球による出塁は認められない。
④　四球による出塁は認められる。
⑤　インフィールドフライは適用される。
⑥　振り逃げはない。

（２）走塁

① 走者は、投球が本塁に達する前に、離塁できない。離塁するとアウトになる。

② 投球が打たれない限り、走者は、進塁できない。

③ タッチアップは認められる。

④ 盗塁、及びワイルドピッチ、パスボールの進塁はない。

⑤ テンポラリーランナー(TEMPORARY RUNNER)とは、捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりに走者となる選手のことである。テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。

テンポラリーランナーは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者とする。

（３）ベース

① １塁ベースは、ダブルベース（白色とオレンジ色に識別された一体構成されたベースで、オレンジ色部分はファール地域に設定される。）で、固定して使用する。

② 打者は、基本的に、１塁ベースのオレンジ色に触塁しなければならない。

なお、一塁を走りぬけた後は、白色のベースに帰塁する。

③ 守備側のプレーヤーは、常に白色ベースを使用する。

（４）ピッチャーと本塁間の距離

① 男女とも、１４．０２メートルとする。

② ピッチャープレートは、固定する。

（５）投手の投球

① 投手は、投球動作に入る前は両足をピッチャープレートに触れていること。

② 投手は、地面から１．５メートル以上３．０メートル以下の弧を描くように投げること。